

河村城址・洒水の瀧山行 (2023年4月16日(日))

4月の例会で「河村城址・洒水の瀧山行」が提案された。季節柄雨が予想されていたが、“曇りのち晴れ”が期待されて、実施にこぎつけた。参加は伊藤、浮津、神田さんと陽田の4名で出かけることになった。

家を出る時はどんより厚い雲に覆われていた空も、新松田に近づく頃には青空が見えてきた。9時20分に松田駅に全員が集合し、ホームに上がると、家並みの向うに真っ白の富士山が遠望できた。今では雲も少しあるが、気持ち良い青空になっていた。やはり“晴れ女”のお陰だ。

9時42分、準備を済ませて山北駅を出発し、駅の北側の線路に沿った道を歩く。やがて県道726号線に出て、線路の上を越える。そして、国道246号線の下をくぐって進む。所々に『洒水の瀧』の案内板があったが、足柄橋を渡った先の駐在所には、掲示板に紙に書かれて「先方の“みっちゃん食堂”方に右折する」という案内があった。恐らくお巡りさんに訊く人が多いのだろうか。

いよいよあまり大きくない滝沢川に沿った細い道を進む。川を眺めると川底には泥や落ち葉がなく綺麗で、コンクリートで固められていた。何故だろうかと考えたが遂に分からなかった。道脇に“農産物直売所”があったので、早速伊藤さんは菜花に似た葉物をお買い上げになった。留守番のおばあさんが帰り迄預かってくれるという。更に進むと東屋のある小さな広場に出た。野菜の無人販売所があり、ここでは帰りがけに吟味することとした。

やがて瀧が見えてきた、すぐ手前に展望台に登る「新遊歩道」の立派な階段ができていたが、かなりの高さがありそうなので小生は遠慮し、お三方のみ登っていった。そのまま進むと直ぐ朱塗りの小さな太鼓橋があり、その奥に直瀑の「洒水の瀧」(シャスイ)の真下に到着した。結構な水量と落差があり、素晴らしい瀧で、「日本名瀑百選」(注1)という。“一の瀧”で落差は67mある、その上流には見えないが“二の瀧”“三の瀧”までであると。しかし、周りは急峻な崖で“落石の危険がある”との表示があり、接近できるのは太鼓橋の手前までだった(確かに飯場があり、「小規模治山事業場」という看板が出ていた)。伊藤さんに瀧を見にここまで連れてきてもらって良かった、感謝。すぐ手前の崖から湧き水が流れていて「日本名水百選」という。

階段脇にベンチがありそこで待っていると、若いお嬢さん7~8人がやってきて、瀧の前で各々思い思いの格好で写真を撮っていた。やがて伊藤さん達が下りてきて「階段は226段あったよ」と。やはり無理、登らないでよかった！瀧は下から見上げるか、真上から見下すのが迫力があるよ(これ負け惜しみ)。

11時に出発、野菜の無人販売所で、皆さん、小振りだが¥100のタケノコをお買い上げになった、勿論米ぬかが付いている。タケノコは取ったその日の内のアク抜きをしないと、エグミが出てくるので皆さんお帰りになったら、早速その作業をやらなければならない。湘南ナンバーのベンツに乗った人が来て、約1合入のお米5袋を計¥500で買っていた。「この名水で炊く湘南米は美味しいし、この水でコーヒーを沸かしても良い」とおっしゃる。主目的は名水を汲みに来たのだと言って30L位のタンクを担いで瀧の方へ行った。

「みっちゃん食堂」からは県道を横切って進み、「高瀬橋」で酒匂川を渡って、11時30分に『日向バス停』から「河村城址」への登り坂へ入った。すぐの農家で『ひじき』という小さな板切れ看板を見つけた。何故山でひじきと思ったら、神田さんが『「おかひじき」(山形産が主)というのがあるよ』と教えてくれた。そう言えば『畑のキャビア』という、秋田地方の『とんぶり』があるのを思い出した。

車が通れる林道からジグザグの本格山道へ入り、12時10分によやく「河村城址」の本丸跡に到着した。誰も居ない静かな広い草地で、隅の方に小さなお堂と高い「河村城址」の石柱が立っていた。ここの広場のベンチで、休憩・昼食を摂った。食後、少し先に草地の「大庭郭」という広場があるので行ってみたら、高さ4m位の展望台が立っており、向うには相模湾が広がっていた。

13時15分、登りと反対側の道から下りにかかる。道は広く石畳になっているが、結構急坂でしかも濡れて苔むしているの、滑らないように注意して下る。伊藤さんが「こちらから登るのは結構厳しいね」と、同感。各々地図を持った10人位の若い男女が登って来たので、しんがりの男性に訊いてみると「地図とコンパスの使い方の訓練です。どうですか参加しませんか」とお誘いを受けたが丁重にお断りした。なんとか急坂を下り、国道246号の下をくぐって、一般道のT字路へ出る。標識は無かったが、右折して進むと丁度駅の“裏口”に出て、13時35分、入場機械にスイカをタッチしてそのまま駅ホームに上がることができた。

駅ホームでの反省会、浮津さん「もう少し昼飯の時間を長くしてほしい」、伊藤さんが「以前はラジュースを持って登り、豚汁などを作ったりしたね」、「今度は若い人に水、食材を背負ってもらって行きましょうよ」などなど。

13時56分発列車で松田駅へ戻って来た。松田駅を出たら浮津さんが既に居ない、新松田駅内のトイレに行ったのだとか。我々は駅前の何処かで反省会をと考えていたのだが、浮津さんは用があるのかそのまま帰っていかれた。残った3人は、前に入った店が居酒屋だったせいかまだお昼寝中だったので、14時10分に別の小さな「Café ASAHI」という店に入った。まず今日の「洒水の瀧」は流石に良かったと伊藤さんの計画に感謝、また晴天に尽力してくれた神田さんに感謝した。それから今後の計画について相談した。「塩船観音」の観ツツジは早い方が良いのではと4月23日(日)に、5月10日の「鬼無里:水芭蕉」も確定に。伊藤さん「上高地のニリンソウは5月初め～中旬が良いのだが、鬼無里とかち合うね」「私としては上高地はニリンソウは無くなるが別の季節でもよいので、鬼無里を優先したいです」、「ヒメサユリは良い所ないですか」、「浅草岳か福島、山形の県境あたりになるので少し無理ですね」、「レンゲツツジはどうでしょう」、「湯ノ丸高原、甘利山などがありますよ」(注2)、「できるだけ私でも歩けるコースで計画していただけますか」などなど色々伊藤さんをお願いしてしまった。15時20分に店を出て15時33分発の急行に乗り、相模大野駅で快速急行に乗り換えて、登戸駅で流れ解散した。

以上 陽田

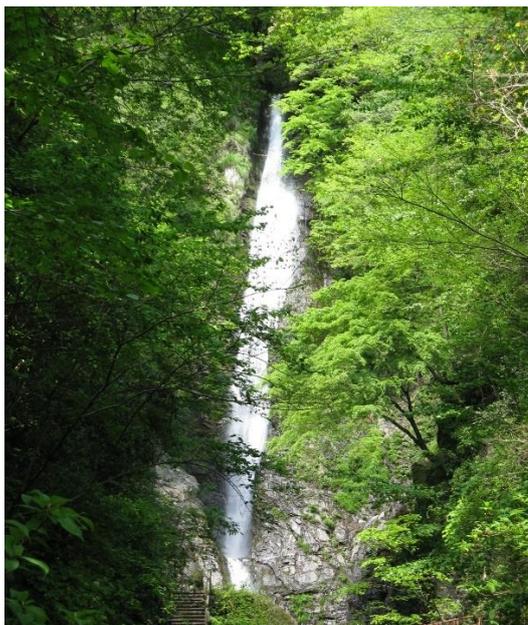
『注1』 「日本名瀑百選」のトップ3は

1. 華厳の滝(97m、直瀑)
2. 那智の滝 (133m、直瀑)
3. 袋田の滝 (120m、段瀑)

なお、東京都の名瀑としては「払沢の瀧」(60m、4段瀑)がある。

『注2』 その他のレンゲツツジの名所としては

- 美ヶ原
- 赤城山「白樺牧場」
- 霧ヶ峰高原
- 乙女高原(山梨市)



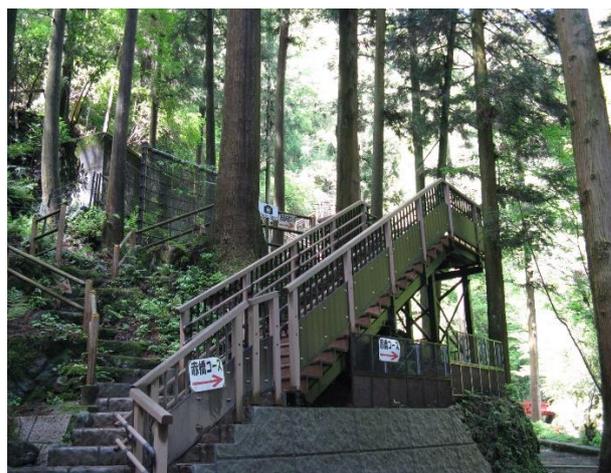
「日本名瀑百選」 洒水の瀧



洒水の瀧



「日本名水百選」 洒水の瀧



洒水の瀧の観瀑台へ登る

